

平成15年度「みどりの日」自然環境功労者  
環境大臣表彰受賞者

保全活動部門（6件）

受賞者	功 績
<small>たろう</small> 田老町漁業協同組合 婦人部 （岩手県）	海の水質保全を図るため、「婦人の森」を造成し、植林活動を行うとともに、海岸清掃等の環境保全活動に尽力。
霞ヶ浦町立佐賀小学校 （茨城県）	霞ヶ浦とその周辺の環境調査を行うとともに、水辺の植生保全等の環境保全活動や、地域への情報発信を実施。
<small>はせがわいわお</small> 長谷川 巖 （福井県）	里地里山の希少種保護に関連した地元や県事業での児童生徒への指導、マスコミを通じた普及啓発。
サンクチュアリジャパン （静岡県）	野生生物の保護・調査活動を行うとともに、ジュニアレンジャー制度を発足し、自然観察会等を通じた子ども達への環境教育を実施。
アベサンショウウオを守る会 （京都府）	アベサンショウウオの生息環境の保全や生態観察を通じ、保護の必要性を普及啓発。
（財）鹿児島県環境技術協会 （鹿児島県）	小学校と連携した蛍の飼育を通じた環境教育等、各種イベントの開催等による自然環境保全の普及啓発に尽力。

いきもの環境づくり・みどり部門（3件）

受賞者	功 績
ニッカウヰスキー （株）北海道工場 （北海道）	工場緑化事業により敷地の四割の緑化を実現、野鳥や小動物の生息環境を創出。
かりがねみどりの少年 団 （愛知県）	子ども達による野外活動、学習活動、奉仕活動を目的とした少年団を結成し、自然観察会、環境保全活動を実施。
あずまかんこうかい 東観光開発（株） たかさか 高坂カントリークラブ （東京都）	昭和53年のゴルファーの緑化促進協力会への入会を機に、学校等公共施設の緑化、環境保全事業等の推進に尽力。

自然ふれあい部門（8件）

受賞者	功 績
あかん 阿寒国立公園 かわゆ 川湯地域 運営協会 （北海道）	硫黄山地区のイソツツジ等を題材にした自然観察会等により、自然保護思想の普及啓発に尽力。
（財）こしみず 小清水自然と語る会 （北海道）	トラスト運動により買い上げた自然林等を保全しつつ、当該地における探鳥会の開催等により、自然保護思想の普及啓発に尽力。
自然の会・オオムラサキ （埼玉県）	オオムラサキの森、ホタルの里等の保全管理や、これらを題材とした各種の自然体験活動を展開。

ピー・エー・ジー・インポ ート(株)ボルボ・カーズ ・ジャパン(東京都)	全国の中・高校生作文コンクールを通じて、 自然環境問題に関心を持ち、行動を起こすき っかけづくりに貢献。
はやしまさとし 林 正敏 (長野県)	バスを使った探鳥会、こどもエコクラブの活 動などの指導者として、自然とのふれあいの 推進に尽力。
はやしまさよし 林 公義 (神奈川県)	南西諸島、奄美大島等におけるダイビングに よる調査、海の自然観察会を開催し、自然保 護思想の普及啓発に尽力。
くしもとかいちゅうこうえん (株)串本海中公園 センター (和歌山県)	子どもを対象としたマリンスクールや、海中 観察会の開催を通じ、自然保護意識の普及啓 発に尽力。
はなしのぶコンサート 実行委員会 (熊本県)	南阿蘇の森林内で行うコンサートを通じて、 希少野生種であるハナシノブ等、阿蘇の貴重 な植物の保護思想の普及啓発に尽力。

調査・学術研究部門(11件)

受賞者	功 績
いとうこうじ 伊藤 浩司 (北海道)	北海道の植物目録作成等、植物に関する調査 ・研究や講演活動を通じて、自然保護思想の 普及啓発に尽力。
しょうじとういち 小路 登一 (富山県)	富山県における植物相の調査・研究、植物保 護の実施並びに保護思想の普及啓発に尽力。

<p>おおのまさお 大野 正男 (埼玉県)</p>	<p>野生生物保護対策検討会無脊椎動物 分科会 座長、絶滅のおそれのある野生動植物の選 定、レッドデータブック改訂分科会等に貢献。</p>
<p>ちはらみつお 千原 光雄 (千葉県)</p>	<p>野生生物保護対策検討会植物 分科会座長、 絶滅のおそれのある野生動植物の選定、レッド データブック改訂分科会等に貢献。</p>
<p>しみずたてみ 清水 建美 (長野県)</p>	<p>植物相及び植物社会学の専門を活かし、自然 環境保全基礎調査に関わり、植物調査の推進 に尽力。</p>
<p>おくたにたかし 奥谷 喬司 (神奈川県)</p>	<p>野生生物保護対策検討会無脊椎動物、分 科会、絶滅のおそれのある野生動植物の選 定、レッドデータブック改訂分科会の検討に貢献。</p>
<p>うめむらじゅんじ 梅村 淳二 (愛知県)</p>	<p>豊田市の河川、池沼等に生息する淡水魚類の 保護・増殖活動、調査・研究等により、自然 保護思想の普及啓発に貢献。</p>
<p>きむらえいぞう 木村 英造 (兵庫県)</p>	<p>淡水魚の専門家として、自然環境保全基礎調 査淡水魚分科会、絶滅のおそれのある野生動 植物の選定に貢献。</p>
<p>もりもとかつら 森本 桂 (福岡県)</p>	<p>野生生物保護対策検討会無脊椎動物 分科会 座長、絶滅のおそれのある野生動植物の選 定、レッドデータブック改訂分科会の検討等に貢 献。</p>
<p>おおつかいさお 大塚 勲 (熊本県)</p>	<p>県内の昆虫研究の第一人者的存在で、白髪岳 自然環境保全地域学術調査の協力等を通じた 自然保護思想普及啓発に貢献。</p>
<p>ふじもとはるひこ 藤本 治彦 (沖縄県)</p>	<p>リュウキュウアユ等の固有淡水魚類、希少種 及び外来種の調査・研究を通じて、自然保護 思想の普及啓発等に貢献。</p>